

令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 いこいの広場テニスコート人工芝張替工事

図面目録		
No	図面名称	縮尺(A3)
A-01	特記仕様書	-
A-02	施工条件特記仕様書	-
A-03	案内図・配置図	1/15000・1/2000
A-04	1～3番コート 平面図	1/3・1/5・1/250

テニスコート改修工事特記仕様書

第1章 総則

本工事は、市民レクリエーションに共用されているテニスコート改修することを目的とする。

1-1 本特記仕様書は、「いこいのひろばテニスコート改修工事」に適用する。

1-2 本工事は、設計図書及び本特記仕様書による他、以下に示す図書によるものとする。

- 1) テニスコートの建設マニュアル(最新版)公益財団法人日本テニス協会
- 2) 屋外体育施設の建設指針(最新版)公益財団法人日本スポーツ施設協会
- 3) 静岡県公共工事共通仕様書(最新版)静岡県交通基盤部

1-3 本工事に設計図書・仕様内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示によるものとする。

1-4 工事施工上、設計に変更が生じた場合、設計図書の作成については、監督員に協力すること。

1-5 受注者は、本工事を実施するにあたり、工事現場における安全対策を実施しなければならない。

1-6 受注者は、事前に設計図書に基づき、現地調査・測量を実施し、その調査結果を監督員に提出し、指示を受けること。

1-7 工事に使用する材料については、施工前に使用材料報告書・サンプル等を提出し、監督員の承認を受けること。

1-8 工事竣工後、監督員の指示に従って竣工図並びに必要な図書を作成し、監督員の指示する部数並びに原図を提出すること。

1-9 本工事は、テニスコート内外において十分な安全対策を行うこと。また、場内を工事車両の通行に使用する関係から、周囲の安全に十分配慮すること。

1-10 人工芝張付工については、人工芝テニスコートの施工実績を有する者による施工とする。

第2章 材料

2-1 コート舗装材

2-1-1 人工芝

本製品は、安全且つ高度な平坦性及び適度の弾力性等が要求される為、体育施設に精通した国内メーカー品とする。
また、品質・性能・環境負荷の低減を考慮しISO9001・ISO14001を取得した国内製造工場で生産する人工芝とし、尚且つ生産を外部委託することのないようにヤーン・基布・タフティング・バックキングを同一敷地内で生産し販売している事とする。

(1) 製品仕様

本工事で使用する人工芝は、砂入人工芝で、下記の人工芝材料仕様を満たすものを使用すること。

部材仕様

項目	仕様	
パイル	材質	耐候性ポリエチレン製同等品以上
	製法(形状)	形状：フラットヤーン スプリット 厚み：80ミクロン
	長さ	19mm±1mm
	織度	8,200dt±10%/80μ
	目付重量	865g/m2±10%
	防炎性	防炎登録品であること
基布	素材	平織透水型 SBRラテックス 同等品以上
ライン		剥離等の弱点となるジョイント(芝同士の継ぎ目)数を軽減するため、主要ラインはタフト工場にて織込する。
ジョイントテープ		基布：ポリエステル 表層：PVC 巾300mm
接着剤		ウレタンポリマー系一液形接着剤
充填砂	種類	粒度調整珪砂
	粒子径	0.15~1.18mm 85%以上

試験項目

名称	試験項目	試験方法(準拠)
人工芝	引張強度	750N/5cm以上
	引張伸度	20%以下
	パイル引抜強度	25N以上
充填目砂	粒径1.70mm通過	100%
	粒径0.85mm通過	95%以上
	粒径0.15mm通過	5%以下

※使用する人工芝は、ダイヤテックス株式会社ダイヤモンドターフD720と同等品以上とする。

第3章 施工

3-1 施工

(1) 下地処理

人工芝の下地層であるウレタン舗装の部分補修とする。下地の仕上り高さは、±20mm以内を基準とし、全体を平滑に仕上げる。また、施工ジョイントに段差が無いよう、平滑に仕上げる。

(2) 人工芝準備工

下地処理完了後、監督員立会いの上調査を行い、下層面に異常のないことを確認し、コート寸法に従い基層表面に基準墨を打ち出す。

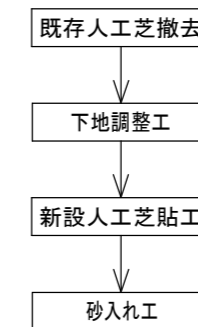
(3) 人工芝工

人工芝は、施工割付図に従い展開する。位置決定後、人工芝を接着ラインに埋め込む。充填材量を所定の量専用散布機械で均一に擦り込む。散布完了後、コート全面を均一にブラッシングする。

(4) コートの寸法公差

完成コートの寸法公差は、以下に示す範囲内とする。
ラインの長辺長さ ±12.7mm、ラインの短辺長さ ±6.4mm

3-2 コート改修工事フローチャート

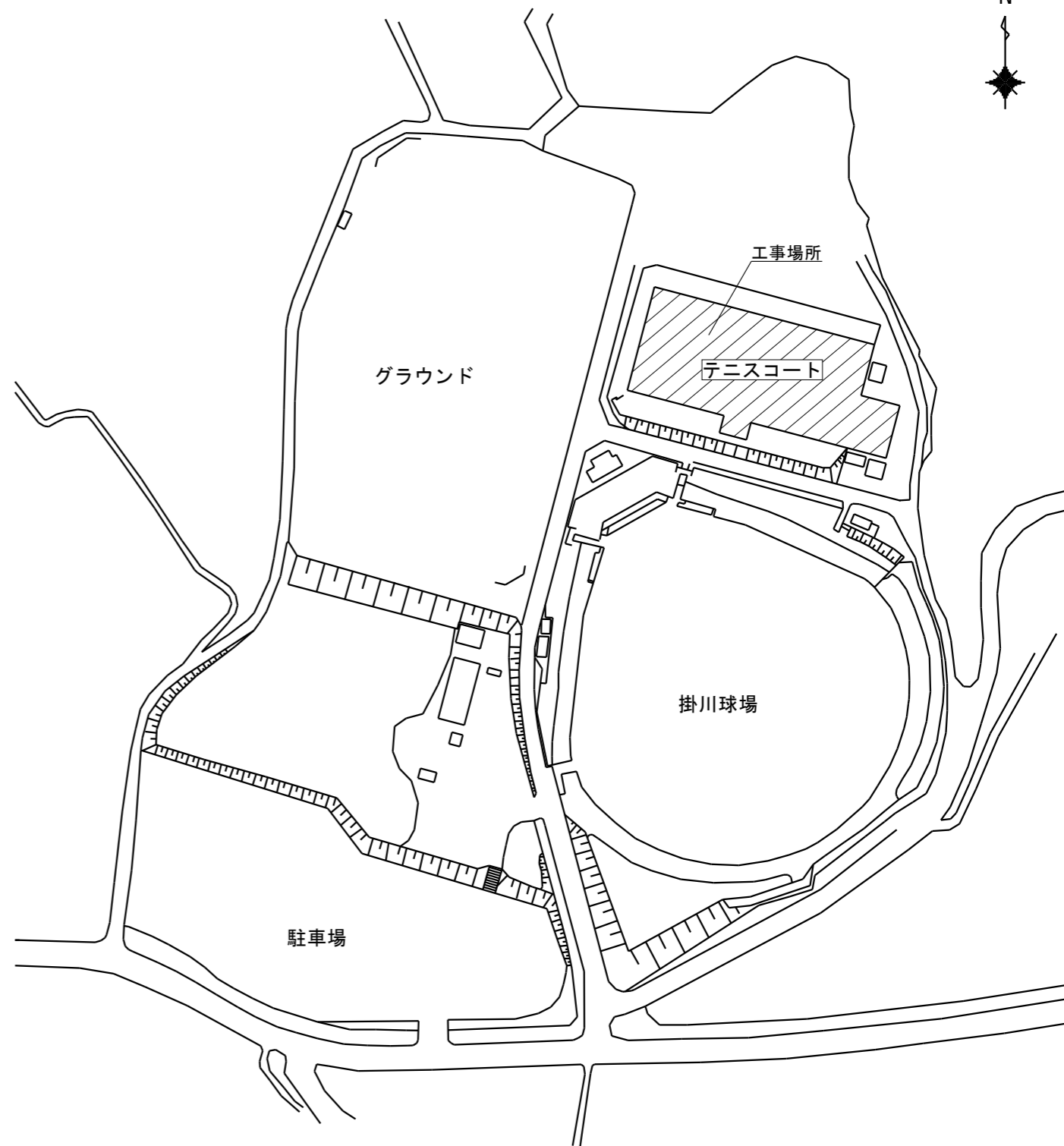


施工条件特記仕様書					明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容											
下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。																				
1 工程関係	1	関連工事との調整	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分		○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	騒音・振動・粉塵が発生する工事	6 仮設備関係	1	仮設備 (仮土留、仮橋、足場等)	仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の内容	工事特記仕様書、図示による。					
				影響を受ける工事内容				仮設備の種類	工事特記仕様書、図示による。											
				関連する工事内容				仮設備の構造、施工方法、施工範囲	図示による。											
				関連する工事の開始又は完了の時期				仮設備の設計条件を指定する場合	図示による。											
	2	施工時期、時間の制限	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	騒音・振動・粉塵が発生する工事	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工時期・施工時間	施設管理者との打合わせによる	7 建設副産物関係	1	建設発生土の搬出	建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離	工事特記仕様書による。				
					制限される施工方法				仮設備の構造、施工方法、施工範囲	図示による。										
					制限される施工方法				仮設備の設計条件を指定する場合	図示による。										
	3	関係機関等との協議	○	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容		○	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	協議内容		8 工事支障物件等	1	建設副産物の利用	現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容	工事特記仕様書による。				
					協議成立見込時期				減量化の内容											
					関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分				建設副産物及び建設廃棄物の処理					建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。			
4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査	○	工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目		○	地下埋設物等の移設が予定されている場合	調査期間		9 排水関係	1	建設副産物及び建設廃棄物の処理	再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設廃棄物の種類	数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等	
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間				受入場所、距離等の処理条件											
5	作業不能日数	○		休日日数以外の作業不能日数	施設管理者との打合わせによる					10 薬液注入関係	1	排水処理	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法	排水処理の方法	放流先			
6	指定部分	○	工事の規模(範囲)及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模(範囲)										11 その他	1	水替・流入防止施設	水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容		
7	設備工事との調整	○	完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保	設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること					12 安全対策関係	1	公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止)	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合					施工方法、建設機械・設備、作業時間	※使用する建設機械の適用については工事特記仕様書による。	
				2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査	工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分										13 5 工事用	1	一般道の使用	搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合
3	電波障害等に起因する事業損失防止調査	○	電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	調査時期						14 4 安全対策関係	1	交通安全施設	交通安全施設等を指定する場合	指定の内容	工事特記仕様書による。					
				未然に防止するための必要な調査方法																
4	交通誘導員の配置	○	交通誘導員の配置を指定する場合	未然に防止するための必要な調査範囲						15 3 公害関係	1	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査	工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分						
				調査時期																
5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策	○	有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	延べ人数	交通誘導警備員A	交通誘導警備員B				16 2 近接関係	1	架設工法	架設工法を指定する場合	施工方法						
				配置時間	交通誘導警備員A	交通誘導警備員B														4
6	一般道の使用	○	搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される使用期間						17 1 工事用	1	新技術・新工法・特許工法	新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容						
				制限される使用時間帯																
7	搬入、搬出路の使用及び使用後の処置が必要である場合	○	搬入、搬出路の使用及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容						18 1 その他	1	部分使用	部分使用を行う必要がある場合	部分使用時期						



【工事場所】
 いこいの広場
 掛川市細谷1686番地

案内図 S=1:15000(A3)



配置図 S=1:2000(A3)

附記

(株)スギエもん設計

静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103
 TEL:0537(54)2821 FAX:0537(54)2822
 E-mail:sugiemon@zm.commuja.jp

事務所登録(1)第7891号
 管理建築士 杉山 彰
 1級建築士登録 第314153号

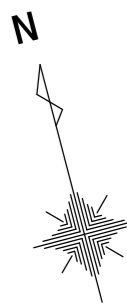
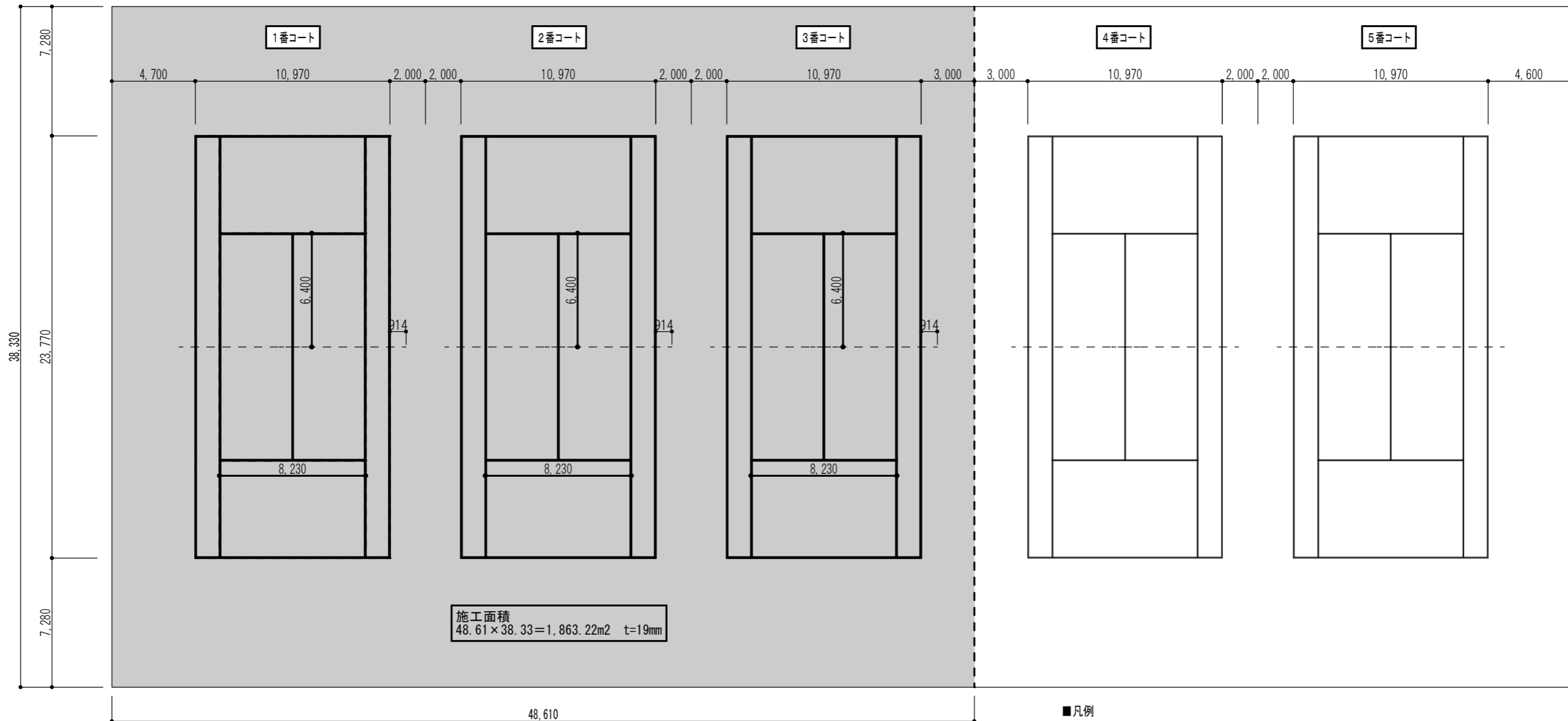
作図年月日
 R6.3.15

担当者
 杉山 彰

縮尺
 1/15000(A3)
 1/2000(A3)

工事名 令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 いこいの広場テニスコート人工芝張替工事
 図面名 案内図・配置図

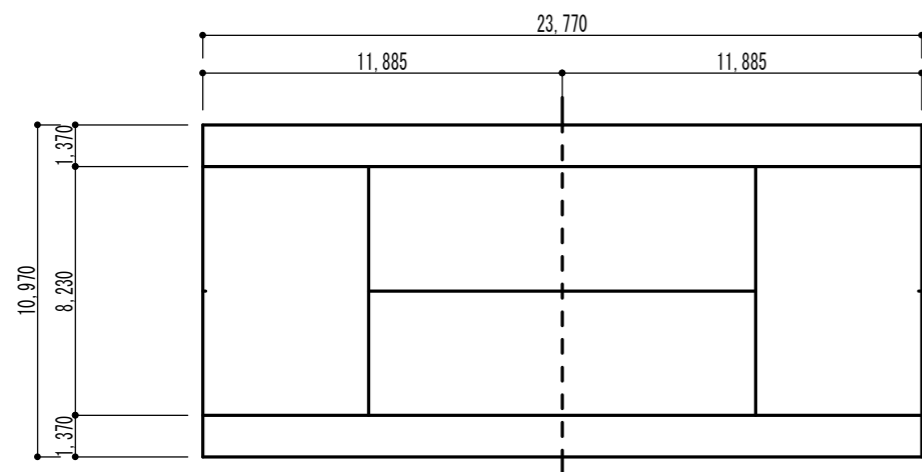
図面No
 A-03



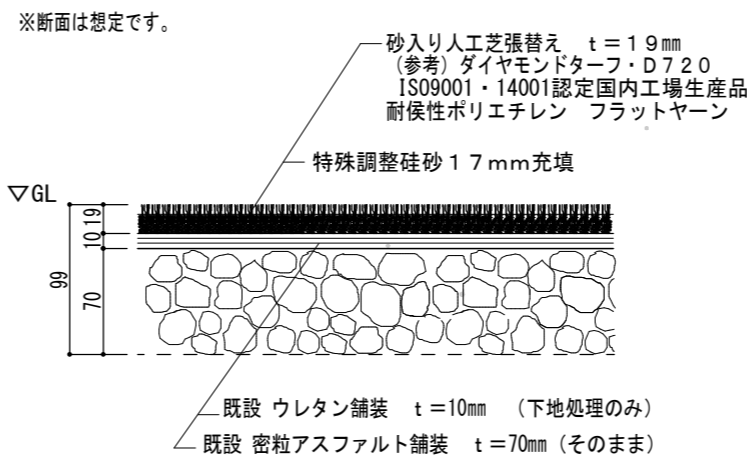
施工面積
48.61 × 38.33 = 1,863.22m² t=19mm

平面図 S=1:250

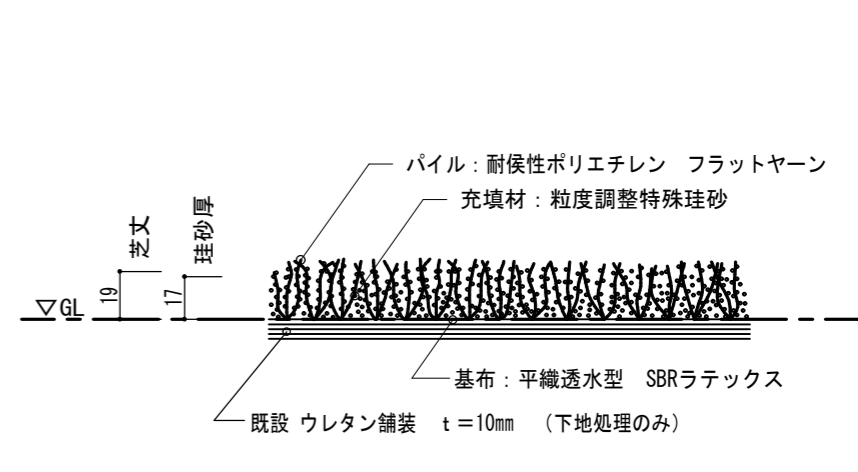
■凡例
改修範囲を示す



テニスコートライン寸法図 S=1:250



砂入り人工芝舗装断面図 S=1:5



砂入り人工芝詳細図 S=1:3

附記	(株)スギエもん設計	静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103 TEL:0537(54)2821 FAX:0537(54)2822 E-mail:sugiemon@zm.commufa.jp	事務所登録(1)第7891号	作図年月日	担当者	縮尺	工事名	図面No
			管理建築士 杉山 彰 1級建築士登録 第314153号	R6.3.15	杉山 彰	1/3, 1/5, 1/250 (A3)	令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 いこいの広場テニスコート人工芝張替工事	A-04
							図面名	1~3番コート 平面図